

令和6年度

資料①

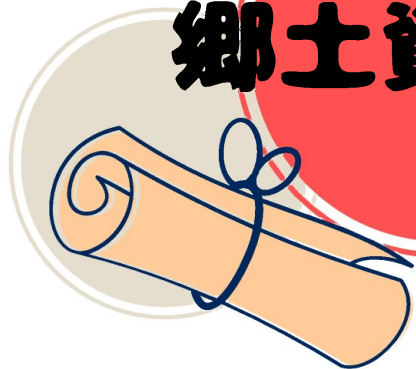
社会教育課



上半期

社会教育事業報告

郷土資料館



読書推進課



恵庭市教育委員会

－ 目 次 －

1. 社会教育課

(1) 家庭教育	P. 1
(2) 青少年教育	P. 2
(3) 成人教育	P. 4
(4) 高齢者教育	P. 5
(5) 女性活動支援	P. 6
(6) 地域教育	P. 7
(7) 文化振興	P. 8
(8) 公民館	P. 9
(9) かしわのもり	P. 1 1

2. 読書推進課

(1) 読書推進	P. 1 3
----------	--------

3. 郷土資料館

(1) 郷土資料館	P. 2 1
-----------	--------

【社会教育課】

領域：家庭教育

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	上半期決算額 (千円)	備考
継続	家庭教育支援事業 * 学びカフェ推進事業	5月18日	えにあす	98名・大人と子ども (前年度81名・大人と子ども)	家庭教育ナビゲーターが中心となり、子育てや家事など様々な話題で交流を行いながら、緩やかな学びあいの場「はぴナビカフェ あたしん家」を実施し、市内の保護者すべてが学びの機会に触れることができる環境を整備。 ・5月18日「ふれあいサロン おはな」 ・6月12日「フリ子の会 6日目(フリーランスな子にフリまわされている(笑)親の会)」 ・7月17日「放課後かふえ『秘密基地』」 ・7月20日「ふれあいサロン おはな」 ・8月4日「幼稚園情報交換会)」 ・8月10日「ふれあいサロンおはな」 ・8月18日「フリ子の会 7日目(フリーランスな子にフリまわされている(笑)親の会)」 ・8月28日「放課後かふえ『ひみつきち』」 ・9月21日「ふれあいサロンおはな」 ・9月25日「放課後かふえ『ひみつきち』」	3	[主催] えにわはぴナビネットワーク [支援] 社会教育課 [協力] NPO法人 まちづくりス ポット恵み野 NPO法人 おはな
		6月12日	えにあす				
		7月17日	いくみ会館				
		7月20日	えにあす				
		8月4日	えにあす				
		8月10日	えにあす				
		8月18日	えにあす				
		8月28日	いくみ会館				
		9月21日	えにあす				
		9月25日	いくみ会館				

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	上半期決算額 (千円)	備考
継続	少年の主張中学校大会	5月21日	恵み野中学校（R6年度 中文連事務局校）	市内中学校各1名(5校)	青少年が日常生活の中で体験し考えている事柄を広く発表する機会を設けることで、青少年の自我形成を助長するとともに、あわせて青少年の健全育成に対する市民の理解を深める契機となることを目指します。 表彰：最優秀賞1名、優秀賞4名 最優秀賞 数馬灯里さん 恵み野中学校3年 「未来に咲く今」 ※石狩地区大会 最優秀賞 全道大会 最優秀賞	18	[主管] 中学校文化連盟 [審査員] 教育委員会教育長 青少年育成市民の会会長 校長会会長 教育研究協議会会長 中学校文化連盟会長
継続	えにわっ子ジュニアセミナー 2024（前期）	8月10日 ～12日	国立日高青少年自然の家 ※野外炊飯活動等の研修活動ができる設備が整っている施設を使用。	市内小学5年生～中学2年生 20名 (前年度21名)	市内小学生が、レクリエーション活動、野外活動、ボランティア活動など、地域の子どもたちのリーダーとしての役割を担うため、必要な知識や技能、社会性を異年齢との交流、宿泊体験、集団行動を通じて学びます。 シニアリーダー「つくしの会」が中心となり、野外活動や、話し合いの手法など、遊びを交えながら互いに研鑽します。野外炊飯やその他自然環境、集団生活活動、様々な育成活動に適した日高青少年自然の家を活用しています。 ※スタッフ 市教委1名、恵子連8名（内、つくしの会4名）、講師1名	218	[共催] 恵子連
継続	青少年表彰事業	9月13日 (審査日)		青少年団体活動者賞(個人) 2名 ※青少年善行者賞、青少年団体活動者賞(団体)、優良勤労青少年賞 申請なし	恵庭市の青少年健全育成に貢献された方々を顕彰。文化功労者・スポーツ功労者表彰と合同で実施。 ◆ 青少年団体活動者賞（個人） ・葛西 瑛梨香（恵庭市子ども会育成連合会） ・大角 穂歌（恵庭岳太鼓保存会）	83	

継続	青少年育成事業	通年			青少年・文化振興基金を運用し、各種補助金の交付を行う。	12	
	* 青少年育成事業補助金				■ 青少年の健全育成に関わる各種事業に対し、審査委員会で審議のうえ、補助金を交付する。 ■ 交付事業（6月25日審査決定） ・ スウェーデン・ロシアを迎える会 （スウェーデン・ロシアを迎える会実行委員会） ・ Y O S A K O I ソーラン体験！えにわっ子まつり （恵庭紅鴉） ・ どっかーん！ロケット発射！こいのぼり製作 （認定NPO法人まちづくりスポット恵み野） ・ みんなでチャレンジ！キッチンガーデン （認定NPO法人まちづくりスポット恵み野） ・ 北海道歴史舞台 絆花 ～中山久蔵翁物語～ （(一社)未来工房）		
継続	子ども会育成連合会支援事業 （恵庭市子ども会育成連合会 運営費補助金）	通年			■ 各町内会育成部(子ども会)の連合組織である子ども会育成連合会の活動を育成支援することで、青少年健全育成を推進する。 ・ 啓発、研修活動 ・ えにわっ子ジュニアセミナー(共催事業)	588	
継続	青少年育成市民の会支援事業 （恵庭市青少年育成市民の会 運営費補助金）	通年			■ 青少年健全育成に係る啓発事業、並びに青少年国際交流事業の推進に係る活動を支援する。 ● 夏の青少年健全育成強調月間関係(7月) ・ 道青少年健全育成条例に基づく立入調査（7月23日） ● 国際交流派遣事業(ニュージーランド・ティマル市)に伴う募金活動の実施(5回)	79	

領域：青少年教育（「恵庭子ども塾」関連）

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	上半期決算額 (千円)	備考
継続	おもしろ理科実験教室	6月16日	恵庭市民会館大会議室	午前子ども27名・小学2～6年生 午後子ども27名・小学2～6年生 (前年度52名)	理科実験を通じて科学に親しみ、「不思議」を子どもが体験することで、探求心や学習意欲を高める。 小学2～6年生対象 ①バスボム(入浴剤)づくり ②ふしぎな万華鏡づくり ③夕焼け色のふしぎ	47	[協力] 千歳科学技術大学理工工房
継続	えにわ大好き！食の体験ランド	9月29日	北海道文教大学 しみずファーム	子ども25名・小学4～6年生 (前年度子ども23名)	テーマ食材を決め、畑での収穫体験や大学での調理体験、ワークショップを行い、生産者と消費者の繋がりや、地産地消について学習し、食についての理解を深める。 テーマ食材：じゃがいも ①北海道文教大生による食育クイズ、ワークショップ ②調理体験 ③ルーキーズカンパニーによる農場体験 (じゃがいも・かぼちゃ収穫、 農業機械による収穫を見学)	66	[共催] 北海道文教大学 ルーキーズカンパニー

領域：成人教育

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	上半期決算額 (千円)	備考
継続	えにわ学講座 * 前期	7月24日	恵庭市内（視察）	8名 (前年度29名)	内容：恵庭の歴史や魅力などを総合的に学ぶ。 テーマ：『恵庭を再発見～記念碑・野外彫刻から2』 講 師：農学博士、恵庭市文化財保護委員会委員 土屋 武彦 氏 コース：旧島松駅通所・島松軟石採石場跡→大安寺→ 恵庭市立図書館→めぐみの森公園→ 市民会館裏グリーンベルト→恵庭小学校	40	※長寿大学生徒が参加した 場合は単位として認定。

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	上半期決算額 (千円)	備考
継続	長寿大学(大学・大学院) 4～9月(前期分) ※年間21回				高齢社会にふさわしい学習の機会を拡充し、高齢者が生きがいを見つけ、社会活動に参加し、健康で楽しい生活ができることを目指します。H14年度より大学院を設置。R6年度は、新入生22名・大学院生8名が加わり、学生総数92名(男24名・女68名)により学習を開始した。	708	
		4月10日	中ホール	87名	■入学式・始業式 (今年度学生総数 92名で始業 ※内新入生22名、大学院進級生8名)		
		4月24日	中ホール、大会議室	77名	■学年別研修(※学年別ホームルーム) 各学年ごとの交流を深めながら、学年内行事等について話し合った。1年生については、大学事務局が進行を担当し、学年幹事の選出に係わっては、自治会事務局も同席した。そのほかの学年は各学年幹事が担当。		
		5月8日	中ホール	77名 ※オープンカレッジ 4名	全体学習(※市民オープンカレッジ)「高齢者に必要な災害時の備え～東日本大震災を経験して～」 講師 河原畑 尚美氏(日本医療大学)		※全体学習を「市民オープンカレッジ」として一般市民に周知
		5月29日	大会議室、ゴミ焼却施設	81名	①生活文化「となりの外国人とどのように接するか」 講師 青 晴海氏(北海道文教大学) ②まちづくり「焼却施設の見学(ゴミ分別の話)」 講師 石丸直稔・伊藤大真氏(市廃棄物管理課)		
		6月12日	中ホール、大会議室	75名	①生活文化「高齢化社会でのICT化の利点と課題」 講師 由水 伸氏(星槎道都大学) ②まちづくり「DIG-災害発生から避難所へ向かう防災訓練」 講師 谷口和三氏(市基地防災課)		
		6月19日	市外施設見学	27名	■前期研修旅行 (円山動物園、大倉山展望台・札幌オリンピックミュージアム)		
		6月27日	中ホール、大会議室、 恵庭市立図書館	74名	①高齢生活「現代のこども・若者のこころと関わり方」 講師 神 直子氏(北海道ハイテクノロジー専門学校) ②高齢生活「上手な医療の関わり方～人生の最後まで自分らしく過ごすために～」【連続講座】 講師 甲斐呂恵・佐々木太一氏氏(連携センター りんく) ③まちづくり「図書館サービスの紹介と実践」 講師 神 百合愛氏(恵庭市立図書館)		

		7月17日	大会議室、恵み野地区	72名	①一般教養「動物たちのしたたかな生きざまを北海道の両生類から学ぶ」 講師 岸田 治 氏（北海道大学北方生物圏フィールド科学センター） ②まちづくり「恵み野地区花巡り」		
		7月25日	中ホール、大会議室、恵庭市立図書館	69名	①生活文化「神秘的食品『乳』」 講師 大沼七海 氏（(株)明治北日本支社札幌オフィス） ②高齢生活「“最後まで自分らしく過ごす”を支える～地域包括支援センターと在宅医療・介護の支援事例について」【連続講座】 講師 南葉子・越麻衣子 氏（恵庭市みなみ地域包括支援センター） ③まちづくり「図書館サービスの紹介と実践」 講師 及川 歩 氏（恵庭市立図書館）		
		9月4日	中ホール、大会議室	78名	■学年別研修（※学年別ホームルーム） 各学年ごとの交流を深めながら、9月以降の学習プログラムの確認や各種変更事項等について説明を行った。		
		9月18日	中ホール	72名 ※オープンカレッジ 8名	■全体学習（市民オープンカレッジ）「音楽のトボス～Duo TOPOS第3回演奏会」 講師 瀧山晃弘・寺長根ミカ 氏（北海道文教大学・演奏家）		

領域：女性活動支援

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	上半期決算額 (千円)	備考
継続	女性団体活動者研修会	7月19日	市民会館大会議室	36人 (前年度 26人)	■趣旨：明るく健やかな地域社会の確立において、女性の果たす役割は大きく、必要不可欠となっていることから、地域における女性活動の活発化を図るため、広い視野での情報・知識習得の機会を提供する。 テーマ：チョコレートの世界へようこそ！ ～持続可能なカカオづくり～ 講師：(株)明治 北日本支社 札幌オフィス企画部 ダイレクトリレーション二課 食育担当栄養士 堤 秀子 氏 宇井 実華 氏 内容：持続可能なカカオづくりや効能、消費量等を学ぶほか、チョコレートのテイスティングを行った。	8	[共催] 恵庭市地域女性連絡会
継続	恵庭市地域女性連絡会支援事業 (恵庭市地域女性連絡会運営費補助金)	通年			■女性団体の自主的活動を助長し、女性の地位向上に寄与するとともに、連携を深め家庭・地域における女性問題の課題解決に向けた取り組みを支援することで、女性活動の推進強化を図る。	48	

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	上半期決算額 (千円)	備考
継続	～恵庭市の学校・地域をつなぐ～ コミスクかふえ！（第1回）	6月23日	恵庭市民会館(大会議室)	学校関係者や地域の方々 45名 (前年度57名)	平成29年度から令和3年度までの5ヵ年にて、全小中学校へ学校運営協議会を設置。地域住民や保護者が学校と足並みを揃え、一体となって子どもたちの成長に関わっていく体制づくりに向け、「～恵庭市の学校・地域をつなぐ～コミスクかふえ！」を開催。学校運営に保護者や地域住民が参画することで、子どもや学校、地域が抱える課題の解決を図る。 ①講演：子どもと育つ地域の未来 講師：北海道大学大学院 教育推進機構講師 佐々木 直人 氏 ②グループトーク	47	[共催] コミスクPLUS (教育委員会・まちすけ 恵み野) [協力] 恵庭市社会教育委員の会議 恵庭市生涯学習推進協議会
継続	恵庭地区通学合宿	8月29～9月1日	いくみ会館	11名・恵庭小学校4～6年生 (前年度18名)	○家庭をはなれ集団生活を送る中で様々な生活体験活動を中心に地域の大人との顔の見える交流を深めると同時に異学年の友達と交わることによって、自立心・協調性・問題を解決する力・がまんする力を養うきっかけづくりとする。 ○地域の大人で通学合宿を通して同じ学校区の大人同士の交流を図りながら「地域の子どもは、地域の大人が育む」という意識の広がりを進める。 ○地域の組織・団体・個人が繋がり、多様な課題を解決できる地域を目指す。	11	[主催] 恵庭地区通学合宿実行委員会

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	上半期決算額 (千円)	備考
継続	文化活動奨励補助金交付事業 (文化活動奨励補助金)	通年			■青少年・文化振興基金を運用し、文化事業の健全な発展に資する対象事業に対し、補助金を交付する。なお、補助交付の申請を受けた事業については、文化活動奨励補助金審査委員会で審査する。 ■交付事業（8月7日審査） ・そら（奏楽）コンサート（NPO法人島松夢創館倶楽部） ・Bill Ringsライブ（恵庭ライブミュージック実行委員会）	0	事業交付予算限度額50万円
継続	文化功労者表彰事業	9月11日 9月26日 (審査会)	市民会館応接室	文化奨励賞 3人 文化振興賞 2人 計5人 ※文化賞 申請なし	◆文化奨励賞 高崎 勝司 氏（芸術：美術） 本郷 隆夫 氏（芸術：美術） 数馬 灯里 氏（芸術：文芸・弁論） ◆文化振興賞 大久保 貢 氏（芸術：詩吟） 沼田 俊子 氏（教育：社会教育）	182	
継続	文化団体の育成 (文化芸能・郷土芸能団体)	通年			・文化協会事業費補助金 350,000円 ・恵庭すずらん踊り保存会事業費補助金 140,000円 ・恵庭岳太鼓保存会事業費補助金 300,000円（周年事業分増額）	790	
継続	文化・芸術共催事業	通年	市民会館大ホール		・村元絵美 Classic Tourism Vol.3（5月19日）	0	市の役割
継続	えにアート・ギャラリー	通年	花の拠点(はなふる)	はなふる展示 1件 ・はるこばあばの針仕事 (令和6年 7月19～31日)	恵庭市内で文化芸術活動に励んでいる方の発表の場並びに、市民が文化芸術作品に触れる場を増やすことを目的に、花の拠点はなふるの空き時間に一部スペースを借り上げ、発表場所として提供している。	0	
	夢創館自主文化事業					0	<主催>
継続	*手作り雑貨マーケット in夢創館（第7回）	7月27日	夢創館	266名 (前年度 233名)	市内及び近郊の作家による、手作り雑貨のマーケットを例年開催。コロナ禍以降、集客も回復傾向にあり、今後も継続していく意向である。		夢創館指定管理者 〈島松夢創館倶楽部〉
新規	夢創館開館25周年JAZZコンサート	8月10日	夢創館	157名	夢創館開館25周年を記念して実施したJAZZコンサート。		
継続	夢創館連携事業 *いきいき100歳体操	第1・3 月曜日 10時～	夢創館	13回延べ230名（継続中）	いきいき百歳体操は座ったままできる介護予防の体操であり、公民館や島松支所で行っていた100歳体操を夢創館でも今年度より開催した。居場所としての機能もあり、人の流れにもつながった。	0	<連携> 夢サロン

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	上半期決算額 (千円)	備考
継続	市民講座	I 期 4～9月	社会教育施設等4会場	165名 (166名)	◎市民に基礎的な知識、技能を身につけていただき、学習を通して学ぶ喜びを味わい、生活に潤いと張りを持ち、講座生相互の触れ合いの中からより豊かな人間性を身につける学習活動を進める。 講座数：12 1回学習時間：2時間程度、毎月2回、年20回開催	1,147	
継続	公民館外国語講座		市民会館		◎外国語の基礎的・基本的な知識・技能の習得を図る機会とする。		
	* 英会話基礎講座（前期）	5～6月		16名 (10名)	小6～中1程度の英会話	55	
継続	公民館サークル	4～3月	社会教育施設等9会場	264名 (303名) *28サークル (31サークル)	◎市民講座、各種講座での学習成果を継続しながら教養を高め学ぶ喜びを味わい、生活に潤いを持ち、サークル相互の輪を作り豊かな人間性を身に付ける学習活動を進める。	0	自主運営事業
継続	日曜趣味講座				◎平日の講座に参加できない市民に参加の機会をつくり、関心の高い「食」関連の事業を開催し、気軽に受講する。		
	* 「コーヒー焙煎講座」	9月24日	公民館	17名	講師によるコーヒーに関わる講話及び参加者によるコーヒーの生豆を焙煎・ドリップを行った。	21	
新規	* 男の料理教室	9月28日		7名	参加者は、3つの簡単料理を終始熱心に調理に取り組み、レシピのプリントに調理方法などをメモする方もいた。	16	
継続	親子ふれあい教室			小学生と親	◎子どもたちに創作や遊びの技術を学ばせるとともに、作業を通じて親子が触れ合う機会とする。		
	* 「親子でクッキング」	5月11日	公民館	保護者7名、子ども8名 (保護者11名、子ども11名)	講師の説明を聞き、実演を見ながら親子で2種類のピザづくりを行った。	15	
継続	公民館IT講習事業			一般市民			
	* パソコン基礎講座	5～6月	公民館	ワード編8名 (13名)、エクセル編7名 (10名)	◎自前のパソコンで、Word・Excelを使った簡単な文書作成や表計算の仕方などを学ぶ機会とする。	58	
継続	公民館文化事業				◎気軽に良質なピアノ演奏を聴くことにより、音楽に対する興味・関心を高め、豊かな情操を養うとともに、幻術文化の振興を講師がクラシック曲を演奏し、曲の特長や作曲家の紹介等を易しく説明しながらクラシック曲への興味を喚起していた。絵本「そらまめくんのベッド」の読み聞かせは、ピアノ演奏を織り交ぜ、参加者は楽しそうに見入っていた。	51	
	くらしに役立つ健康講座	8月28日	市民会館	10名 (10名)	◎止められる老化を学び、健康的なよりよい生活を送るための方策を学ぶ。	14	
	* 「女性のための健康づくり栄養講座」	8月19日	公民館	9名 (22名)		14	

	その他事業			市内小学生	◎軽スポーツを通して、親子・子ども達同士がなかよく触れ合う機会とする。また、障害者スポーツに対する理解を深める。		
継続	*「みんなで楽しむスポーツ講座」	8月9日 1月	公民館	29名（22名）	長期休みにボッチャ・カローリング・軽スポーツ等の体験会を開催した。	5	
継続	公民館分館活動（島松分館				◎公民館分館活動を通して地域交流の活性化を図ると共に、分館活動の支援に努める。		
	*子どもサマーキャンプ	7月27日	公民館	島松小4年生から6年生 30名	公民館の集会室を活用して防災キャンプを開催し。防災意識を高		
	*島松公民館運動会	9月1日	かつら公園	島松分館会員 300名	運動会を通じて体力の向上を図るとともに地域の交流を図る。		
	*シニアパークゴルフ大会	9月29日	ルルマップゴルフ場	島松分館会員 25名	パークゴルフを通じて体力の向上を図るとともに参加者の交流を図る。		

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	上半期決算額 (千円)	備考
継続	図書貸出	通年	緑のカフェ プレイスペース2 会議室、クラークルーム		〈経過〉 ・平成30年12月から平成31年3月まで試行により図書貸出を実施（H30：48件） ・地域の方々の利用が一定件数あること等から、令和元年4月より（当分の間）貸出を継続実施（R元：85件） ・令和2年度貸出（R2：40件） ・令和3年度貸出（R3:44件） ・令和4年度貸出（R4:106件） かしわのもり文庫への寄付申込（受付）状況（開設後：個人） H28：5件、H29：17件、H30：16件、R元：8件、R2：8件、R3：14件、R4：10件845冊、R5：2件62冊	0	
継続	展示・情報提供	通年	エントランスホール 掲示版（廊下） 展示コーナー	来館者	・かしわのもりフォトコーナー エントランスホールに、かしわのもりで実施されたイベント、行事等の写真を展示した。 ・かしわのもり情報コーナー 廊下の壁に設置されている掲示版を活用し、市等及び地域関係団体等から寄せられる啓発ポスターやイベント・行事参加案内等ポスターを掲示し、地域における情報発信の役割を担っている（通常、30～40件程度の掲示が可能）。 ・かしわのもり展示コーナー 展示コーナーは、緑のカフェ読書コーナー向いの秋の庭側壁部分とし、照明・ピクチャーレールを設けている。 ・通年展示として「えにわ芸術文化宅配事業」の作品を、季節的に「恵庭市フラワーマスター協議会」の作品を展示。	0	

継続	{四季に応じたイベントの開催}						
	* 五月人形展示	4月15日 ～5月5日	ブレイススペース 1 会議室 クラークルーム	来館者	五月人形を展示し楽しんでもらった。	0	
	* 桜の開花鑑賞	4月26日 ～5月5日	春の庭	来館者	桜の開花時期（4月下旬から5月上旬）にあわせて、「春の庭」を開放し自由に観ていただいたり、夜間ライトアップを実施。	0	
	* 緑のカフェ特別メニュー (桜まつり)		クラークルーム 緑のカフェ	来館者 75名	飲み物と団子のセットを提供し、春の庭の椅子テーブルを利用可能とした。	0	
	* 抹茶体験 (桜まつり)		ブレイススペース 1	来館者 70名	公民館サークルの協力により、「抹茶体験(有料)」を実施。	20	
	* 七夕イベント	8月7日	クラークルーム 春の庭 エントランスホール	主に子どもひろばに参加する 子どもたち 参加者 157名	・子どもひろばに参加する子どもたちが手作りした短冊や七夕飾りでクラークルーム内を装飾。 ・水鉄砲を使った射撃ゲーム、シャボン玉遊び、ヨーヨー釣り、輪投げ等を実施。	20	
新規	かんたんデコパージュ作り	6月22日	会議室	参加申込者 16名	講師を招き、紙に描かれた絵を切り抜いてモチーフをつくり、家具などに貼り付け上からニスを塗って仕上げる作業の体験をしていただいた。	5	
新規	かしわのもり 秋まつり	9月29日	全館	来館者 247名	秋のイベントとして、団体対抗ゲーム（玉入れ競争・おたまリレー）、個人ゲーム（リング重さ当てクイズ、バナナ早食い競争）などで楽しんでいただいた。販売ブースでは10店舗出店があり、喫茶ではカレーライスなど特別メニューの提供もあった。	50	

【読書推進課】

領域：資料収集・提供

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	上半期決算額 (千円)	備考
継続	資料の収集・提供 雑誌スポンサー制度	通年	全館	16件/29誌・企業、個人 (前年度16件/31誌)	企業や店舗・個人が社会貢献の一環として雑誌を提供する制度。 提供雑誌の「最新号」のカバーと雑誌架にスポンサー名を表示、 カバーの裏面に会社概要などを周知。		指定管理者実施事業
継続	情報提供サービスの推進 * インターネット及び 各種データベースの利活用	通年		通年	インターネットや各種データベースの活用促進を図り、利用者の 嗜好に応じた新着図書情報や過去の貸出記録が管理できる機能を 提供する。		指定管理者実施事業
	* 新着図書情報データ 配信サービスの実施	通年		通年			
	* 読書履歴管理機能の活用	通年		通年			
継続	電子図書館	通年		1,500冊（前年度1,542冊）	インターネットを通じた電子書籍の貸出。		
継続	団体貸出	通年	全館	1,772冊（前年度1,640冊）	学童クラブ等の団体への貸出。		
継続	図書宅配サービス	通年	本館	0名0冊・高齢者等 (前年度 4名17冊)	高齢者など図書館来館が困難な市民に対し、図書の貸出や返却を 有償で実施する。		
継続	ブックステーション	通年	黄金ふれあいセンター 生涯学習施設かしわのもり	貸出 915冊（前年度822冊） 貸出 509冊（前年度571冊）	黄金ブックステーション及びかしわのもりブックステーションの 運営。		指定管理者実施事業

領域：児童サービス

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	上半期決算額	備考
継続	おはなし広場	通年	本館 恵庭分館 島松分館	32回 233名・乳児から児童 (前年度 34回205名) 7回 43名・乳児から児童 (前年度 10回58名) 12回 30名・乳児から児童 (前年度 12回67名)	児童奉仕活動の基本的な事業として、絵本の読み聞かせ、紙芝居 等を実演。市内の読み聞かせサークルの協力を得て実施してい る。午前の部は乳幼児、午後の部は幼児～小学校低学年が対象。		指定管理者実施事業 図書館所蔵資料を活用
継続	本館夏のスペシャルおはなし会	7月28日	本館	21名 (前年度 15名)	「読み聞かせの会「知恵袋」」出演の夏休み行事。		指定管理者実施事業
継続	島松分館夏のスペシャル おはなし会	8月3日	島松分館	14名 (前年度 16名)	大型絵本・紙芝居などの読み聞かせを実施。		指定管理者実施事業
新規	恵庭分館夏のスペシャル おはなし会	8月4日	恵庭分館	11名	大型絵本・紙芝居などの読み聞かせを実施。		指定管理者実施事業
継続	BALLOONおはなし会	通年	本館	5回 59名・小中学生から一般 (前年度 5回68名)	洋書絵本の原語による読み聞かせ。児童が異文化に触れ、国際感 覚を養うことを目的とする。読み手は図書館職員と市教委ALT。		指定管理者実施事業 図書館所蔵資料を活用

継続	家読（うちどく）推進事業 ・うちどくノート、ブック リストの作成・配布	通年	全館	通年	家庭で同じ本を読み、感想を話し合うことでコミュニケーション を深める「家読(うちどく)」の普及。「うちどくノート」「この 本読んだ?ブックリスト2024」の作成・配布。		読書推進事業・学校図書館 活動推進事業及び指定管理 業務
新規	私家本 自分の本を作ろう ～家族の記録を一冊の本に してみませんか～	4月6日	本館	6名	市内在住の陸野好男氏を講師に招いて実施。		指定管理者実施事業
継続	子ども読書の日記念事業 *展示「この本読んだ? 2024」	4月9日 ～5月6日	全館	幼児から中学生	平成13年12月制定「子ども読書活動の推進に関する法律」で定め られた「子ども読書の日」を広く周知。		指定管理者実施事業
	*親子のためのパペット シアター	4月27日	本館	62名（前年度60名）			
	*こども映画会	4月28日	本館	11名（前年度20名）			
新規	プレゼント企画	5月6日 4月29日 5月3～6日 7月15日 8月12日 9月16日 9月23日 5月5～6日 7/14～15日	本館 恵庭分館 島松分館	20名 計133名 計14名	祝日開館日に本を5冊借りた子どもに折り紙細工等を配付。		指定管理者実施事業
継続	工作ワークショップ *ハッピーマンデーおたのしみ会	8月12日	本館	10名 (前年度 2回23名)	祝日開館周知を目的とした行事。		指定管理者実施事業
新規	*ゲリラミニ工作会	7月6日 7月20日 7月27日 7月30日 8月6日 8月9日 8月13日 9月14日 9月16日 9月23日	本館	計120名	和光アート教室講師による事前告知なしの工作会。		指定管理者実施事業

継続	えほんのせかいがひろがる！ ニコニコ☆さつえい会	9月8日	本館	17名 (前年度 2回34名)	1歳未満の乳児対象とした絵本の世界がテーマの撮影会。		指定管理者実施事業
新規	子ども司書体験講座 ～図書館で本を探そう！～	7月7日	本館	5名	図書館の仕事を体験する子ども向け講座。		指定管理者実施事業
継続	その他実施行事 * 恐怖の図書館 ～夜の謎解き図書館～	8月4日	本館	45名 (前年度 39名)	閉館後の図書館での謎解きゲーム等のイベント。		指定管理者実施事業
	* 人形劇団クラルテ公演	9月15日	本館	43名 (前年度 56名)	関西の劇団を招いての人形劇公演。		

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	上半期決算 額	備考
継続	上映会の開催 * 大人向け映画会	毎週 水曜日	本館	25回 387名・一般 (前年度 25回386名)	上映許諾済又は著作権が発生していない映画を上映。		指定管理者実施事業 図書館所蔵資料を活用
	* 子ども向け映画会	第2・4 土曜日	本館	12回 36名・児童 (前年度 11回65名)			
	* 午前10時の映画会	9月23日	本館	一般 6名 (前年度 10名)	「未知との遭遇」を上映。		指定管理者実施事業
継続	大人のためのお話し会	4月10日 7月10日	本館	計20名 (前年度 24名)	読み聞かせサークル「青空のたね」による大人対象の事業。		指定管理者実施事業
新規	夏の作品発表会	募集期間 7/11～ 展示期間 8/1～8/31	全館	自由参加	図書館の本を参考に作った利用者の作品を本と共に紹介。		指定管理者実施事業
継続	その他実施行事（展示） ・写真展（陸野好男氏） 4月2日～12日 ・山本紘正絵画教室展 4月16～30日 ・絵画サークル えのぐ箱 小品展 5月2～12日 ・春の石膏デッサン展 5月17～30日 ・フォトクラブ写遊 写真展 6月1日～9日 ・水彩画展示会 6月18～27日 ・原爆パネル展 8月1～15日 ・花とも写真展2023 8月20～29日 ・絵画展（島松絵画同好会） 9月13～26日 ・よしなが こうたく 絵本原画展 9月28日～10月24日	通年	本館ギャラリー	一般	市内で文化活動が続けている個人、団体の発表の場。		指定管理者実施事業
継続	・夏休み水彩画教室	8月17日	本館	一般 13名 (前年度20名)	市内在住の画家・山本紘正氏を講師として迎えた事業。		指定管理者実施事業

領域：障がい者等サービス

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	上半期決算 額	備考
継続	障がい者サービス * 図書の音訳	通年	本館	0件・障がい者 (前年度 0件)	恵庭市朗読赤十字奉仕団による図書の音訳。		指定管理者実施事業
	* 郵送貸出	通年	本館	0名・障がい者 (前年度 0名)	視力に障がいを持つ方への録音図書や点訳図書の郵送貸出。		
	* 対面朗読サービス	第2・4 水曜日	本館	6件・障がい者 (前年度 0件)	恵庭市朗読赤十字奉仕団の協力により、視覚障がい者への対面朗読を実施。		
	* サピエ図書館	通年	本館	1名 14冊・障がい者 (前年度 1名 10冊)	視力に障がいをお持ちの方へ、サピエ(日本点字図書館のシステム)が持つデイジーデータ等のダウンロードと提供を行なう。		

領域：図書館広報事業

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	上半期決算 額	備考
継続	図書館活動のP R * 図書館だより	毎月		毎月	図書館活動のP R紙の発行。		指定管理者実施事業
	* ホームページ・Facebook	通年		通年	図書館の行催事やお知らせ、図書館活動を掲載。		
	* 図書館要覧の作成	5月		5月	図書館の各種利用状況をまとめた年報を作成。		

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	上半期決算 額	備考
継続	小中学校への支援 * 総合学習への支援	通年		0件 0名 (前年度 0名)	総合学習、調べ学習のための図書館団体利用の受入。		指定管理者実施事業
	* 職業体験の受入 ・実習生受入	通年		2名 (前年度 2名)	大学の図書館司書課程を履修している学生の実習受入。		
	・体験学習	通年		0件 0名 (前年度 18名)	図書館司書業務の体験学習の受入。		
	・団体利用受入	通年		393名 (前年度 466名)	幼稚園、小学校等の見学など団体利用の受入。		
	* 団体貸出 ・学校への総貸出	通年		3,857冊・小中学生 (前年度 4,831冊)	学級文庫・児童生徒教職員への貸出・学校図書館での特集コーナー等、公共図書館から各小中学校へ貸出を行った冊数の総数。		指定管理者実施事業 学校配本システムを活用
	・学級文庫	通年		3,633冊・小中学生 (前年度 4,520冊)	前項のうち、各小中学校の学級内において利用する「学級文庫」への貸出分。		
継続	高校ブックライン事業	通年	恵庭北高校 恵庭南高校	貸出 0冊 (3冊) 貸出 49冊 (40冊)	市立図書館の予約図書を高等学校図書館で手軽に受け取ることのできる事業。		指定管理者実施事業

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	上半期決算 額	備考
継続	全市的読み聞かせ活動の推進 * 幼稚園や保育園での 読書活動推進 ・ 幼稚園・保育園 巡回読み聞かせ	通年	市内幼稚園等	1,588名 (前年度640名)	図書館で読み聞かせを行っているボランティアが市内幼稚園等を訪問する。		指定管理者実施事業
継続	恵庭まちじゅう図書館 事業の推進	通年		32館 (前年度42館)	人とまちを育む読書条例制定を機に開始した事業。市内の様々なカフェやオフィスなどに店主や社員などのお気に入りの本を展示し、訪れた人と本の会話を楽しむ読書コミュニティ事業。		
継続	ブックスタート事業 * ブックスタート	毎月1回	えにあす	9・10カ月児と親 6回 175部 (前年度 204部)	乳児期における利用サービスの取り組みとして、9・10ヶ月児健診に参加した絵本・絵本ガイドなどが入った「ブックスタートパック」をプレゼントする。		指定管理者実施事業
	* ブックスタートプラス	毎月1回	えにあす	1歳6カ月児と親 6回 204部 (前年度 204部)	家庭での読書環境の継続と充実を図るため、1歳6ヶ月児健診に参加した親子に絵本1冊と絵本ガイドをプレゼントする。		
継続	本のリサイクル市	5月26日	本館	—	市民から提供のあった不要本の再活用を目的に開催。		指定管理者実施事業
新規	フラワーサポーター ・ 会議 ・ 植栽 ・ 除草	5月16日 6月6日 6月19日 7月3日 7月24日 8月7日 8月21日 9月4日 9月18日	本館	計37名	図書館の花壇整備をボランティアで実施。		指定管理者実施事業
新規	ガーデニングワークショップ	5月23日 6月26日 8月1日	本館	計30名	図書館本館前庭花壇を会場としたガーデニングのワークショップ。		
継続	としょかんまつり装飾展示	9/28~10/31	本館	—	読み聞かせサークル「おもちゃばこ」による玄関装飾。		指定管理者実施事業
継続	司書の派遣	通年		6名（前年度 4名）	事例報告や講習会講師等。		指定管理者実施事業

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	上半期決算 額	備考
継続	学校図書館活動の推進	通年					
	* 学校における読書活動			全13校	「ブックリスト」の配付。		
	* 図書の共有化推進	通年		211冊 (前年度229冊)	児童生徒の求めにより、公共図書館の図書を学校図書館を通して貸出を行う。		
	* 司書教諭・学校司書の 研修会開催	7月9日	本館	19名 (前年度23名)	司書教諭と学校司書の連携、学校図書館活動の理解を深める。		
	* 朝読・家読の推進	通年		全13校	「うちどくノート」の配付。		
	* 調べる学習コンクール ・開催・作品募集	8月27日 ~9月17日		451名・450作品 (前年度 298名・292作品)	図書館を利用した調べ学習の推進。		
	・調べる学習講習会	7月31日	本館	8名・小学生等 (前年度1名)	「小中学生調べる学習コンクール」に向け、小学生を対象に調べ学習のポイントや調べ方のコツを説明。		
	* 学校図書館活動推進協議会	通年		通年	学校間のネットワーク化と学校図書館活動の充実・支援を図る。		
	* 物語定期便	通年		計13セット（各30冊）を学校間巡回	物語や科学を楽しむための本を各小中学校に定期的巡回を行う。		

【郷土資料館】

領域：郷土資料館

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	上半期決算額 (千円)	備考
新規	遺跡発掘調査成果展 ～令和3年度・令和4年度の発掘調査～	4月20日 ～6月16日	郷土資料館	2,118名（小中学生355名）	令和3年度・令和4年度に実施した遺跡の発掘調査について、縄文土器などの出土品の実物や調査風景の写真を展示。	5	
継続	カリンバ土曜講座①	4月20日	郷土資料館	27名 (前年度21名)	演題：「恵庭の遺跡と発掘調査～ユカンボシ川流域の遺跡を中心 講師：恵庭市郷土資料館 学芸員 鈴木 将太	1	
継続	昔の道具体験コーナー	4月27日 ～5月6日	郷土資料館	自由参加事業	収蔵資料の中から唐箕、石臼、竿ばかり等の資料を実際に動かし、体験する。	0	
新規	自然観察会	5月18日	黄金地区 カリンバ遺跡とその周辺	16名（小中学生1名）	国指定史跡カリンバ遺跡とその周辺の野鳥を中心に観察し、合わせてカリンバ遺跡について学習する。	5	
継続	第2回千歳・恵庭の遺跡を歩く キウスVSカリンバ編	5月26日	カリンバ遺跡群とキウス周堤墓群	30名 (前年度17名)	恵庭市と千歳市の遺跡をウォーキングしながら、両市の遺跡調査解説を聞く。	1	
継続	第11回カリンバ講演会	6月8日	市民会館	70名 (前年度35名)	演題：「北海道の縄文・続縄文社会とカリンバ遺跡」 講師：北海道大学 教授 高瀬 克範氏	5	
継続	カリンバ土曜講座②	6月15日	郷土資料館	35名 (前年度21名)	演題：「令和4年度に行われた柏木川9遺跡の発掘調査について」 講師：恵庭市郷土資料館 学芸員 長町 章弘	0	
継続	第2回アイヌ文化講演会	6月22日	市民会館	74名 (前年度59名)	演題：「松浦武四郎が記録した恵庭のアイヌ文化」 講師：文化庁 調査官 内田 裕一氏	5	
継続	アイヌ文化マスター育成事業	①6月30日 ②7月14・15日 ③9月8日	郷土資料館 釧路市等 郷土資料館	毎回6名(小中学生6名)	市内に在住する小中学生のうち公募した6名が、計8回の講座や体験でアイヌ文化を学ぶ。	617	
新規	コレクション展「鈴蘭窯展」	7月6日 ～8月25日	郷土資料館	1300名(小中学生403名)	昭和55年、郷土恵庭に根差した器を創ろうと開業した「鈴蘭窯」で制作された花器や皿、湯呑み茶碗等の陶器約80点を展示。	0	
継続	「第11回 カリンバまつり」	7月27日	郷土資料館	239名(小中学生約6割) (前年度23名)	市民を公募し、資料館学芸員等を講師としてムックリ作り、勾玉作り、縄文土器作り等を実施。	48	
継続	粘土で土笛づくり体験	7月31日	郷土資料館	20名(小中学生14名) (前年度15名)	郷土資料館ボランティア事業。粘土で土器を作っていた大昔の人の生活の一端を体験してみようと、粘土で土笛づくりを体験。	0	
継続	常設展展示室入替展 「戦争資料展」	8月1日 ～8月29日	郷土資料館	619名(小中学生192名) (前年度372名)	常設展示室「昭和コーナー」を一時撤収し、市民より寄贈を受けた戦争関連資料約70点を展示。	0	
継続	クイズ&スタンプラリー2024	8月1日 ～18日	郷土資料館	119名（小中学生119名）	夏休み事業。館内のスタンプを押し、コレクション展「鈴蘭窯展」に関するクイズに正解するとガチャ機から同展展示資料の缶	0	
継続	漁川の生きもの観察会	8月3日	漁川あかね橋上流むつみ公園駐車場付近	13名(小中学生8名) (前年度6名)	漁川に生息する魚や水生昆虫を投網、たも網で捕獲し、観察を行う。	0	
継続	アイヌ文化学習見学会事業	8月24日	白老町等	29名(小中学生1名) (前年度35名)	市民を公募し、白老町と登別市の博物館等で現地学芸員の解説を受けて、アイヌ文化を学ぶバスツアーを実施。	120	

継続	古里チヨイ散歩	8月24日 9月21日	市道恵庭線	10名(小中学生 0名) (前年度4名)	郷土資料館ボランティア事業。市道恵庭線沿いの歴史的にゆかりのある場所をボランティアが説明しながら散策。	0	
新規	企画展「西島松5遺跡出土品重要文化財新指定記念写真展」	9月11日 ～ 10月14日	郷土資料館	476(小中学生67名) *9/30までの人数	令和6年度に新たに重要文化財に指定された西島松5遺跡出土品の写真、またそれらが出土したお墓の写真や図などを展示。	15	
継続	企画展「特別公開2024 カリンバ遺跡重要文化財 漆塗り装身具展」	9月21日 ～23日	埋蔵文化財整理室	195名(小中学生11名) (前年度91名)	年に1度、カリンバ遺跡の大型合葬墓3基から出土した漆塗り装身具の実物を公開・展示する。同時に市内遺跡ミニ展示「恵庭の遺跡から出土した縄文時代の玉類」も行った。	3	
継続	カリンバ土曜講座③	9月28日	郷土資料館	24名 (前年度13名)	演題：「昭和11年 恵庭村民の大演習」 講師：恵庭市郷土資料館 学芸員 大林 千春	0	
継続	学芸員による展示解説	①5月17日 ②6月15日 ③7月20日 ④8月23日 ⑤9月8日	郷土資料館	9名 21名 14名 5名 8名	テーマ：「令和3年度調査のユカンボシE1遺跡をメインとした遺跡の解説」、担当：鈴木 テーマ：「令和4年度調査の柏木川9遺跡をメインとした遺跡の解説」、担当： テーマ：「恵庭の歴史概要～島松軟石」、担当：大林 テーマ：「史跡カリンバ遺跡をメインとした遺跡の解説」、担当：長町 テーマ：「市内の遺跡から出土した遺物を保存科学の視点で解説」、担当：杉	1	
継続	ふるさと教育宅配事業	6月 ～10月	市内小学校	市内小学校全児童	郷土資料館収蔵資料の内、学校・お店・家の中で使う道具とアイヌ民族資料を市内の8小学校に貸出し、巡回して展示を行う。	26	

令和6年度 恵庭市教育委員会 上半期 社会教育事業報告

令和6年10月作成

編集 恵庭市教育委員会

教育部 社会教育課

〒061-1498 恵庭市新町10番地

TEL 0123-33-3131 内線1711・1712

E-mail : syakaikyouiku@city.eniwa.hokkaido.jp